

注) この RCT は日本東洋医学会 EBM 委員会がその質を保証したものではありません

## 11. 消化管、肝胆膵の疾患

### 文献

Itoh T, Yamakawa J, Mai M, et al. The effect of the herbal medicine Dai-kenchu-to on post-operative ileus. *The Journal of International Medical Research* 2002; 30: 428-32. CENTRAL ID: CN-00410068, Pubmed ID: 12235926

### 1. 目的

大建中湯の術後イレウスに対する効果と術後状態の改善に対する有効性の評価

### 2. 研究デザイン

ランダム化比較試験 (RCT)

### 3. セッティング

病院 1 施設 (金沢癌研究所)

### 4. 参加者

腹部手術後患者 154 名のうち、術後イレウスを発症した 24 名

### 5. 介入

Arm 1: 大建中湯 15.0g 13 名

Arm 2: プラセボ (服用量、服用回数は同じ) 11 名

薬剤投与期間 14 日間 (経口)

### 6. 主なアウトカム評価項目

イレウスに対する手術の有無、イレウス再発率

### 7. 主な結果

大建中湯群はプラセボ群に比べ、術後イレウスに対して有意に手術を回避することができた。さらに、統計学的には有意ではないが、大建中湯群はイレウス再発率を低下させる傾向があった。

### 8. 結論

大建中湯は腹部手術後のイレウスに対して副作用のない、経済的で非侵襲的な治療薬である。

### 9. 漢方的考察

なし

### 10. 論文中の安全性評価

記載なし

### 11. Abstractor のコメント

術後イレウスに対する大建中湯の有効性を評価した RCT である。本研究は術後イレウスに対する治療法が確立していない現状では、臨床的に意義の大きい内容と考えられる。結論においてその安全性や経済性にも言及しているが、本論文中にはそれらの記載が見当たらない。また、対象患者の原疾患や手術方法による効果の差異や、安全性および経済性に関する評価がなされるとよい。

### 12. Abstractor and date

新井信 2007.6.15, 2008.4.1, 2010.6.1